

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農道・用排水路整備事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	● ハード ○ ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等			
対象・受益者	農業者、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
農業の生産性の向上と経営の安定が図られています。		農業生産性の向上のため、農道を整備します。また、農業用水の確保を図るため、用排水路を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	農道改良整備の推進(平成25年度から)			単位	m
	説明・算定式	各年度における整備延長				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標			485	370	
	実績			404		
成果指標②	指標名	用排水路整備および改築の推進(平成25年度から)			単位	m
	説明・算定式	各年度における整備延長				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標			60	45	
	実績			25		
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	入札が不調になった案件があり、予定していた整備の延伸ができなかったため				
平成25年度の主な取組と成果						
農道や用排水路を改修整備し、農業生産性の向上と安定を図りました。農道改良L=404m、用排水路L=25m						
平成25年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	農道の拡幅による大型機械の導入や用排水路の整備による用水の安定供給など、効率の良い営農活動を促進させる必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	効率的な営農活動とともに、市民に地元産の安心安全な食糧を安定供給することに有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	農道及び用排水路の改修整備により、耕作放棄の解消や緑地保全による地球温暖化の防止等に役立たせ、公益性の増大につながります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	経済的な工法を採用しコスト削減に取り組み、事業の効率の向上を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		持続的に農業振興を維持するため、老朽化した取水堰や用水ポンプ施設を早急に改修整備する必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		農道:北豊田・岡崎・土屋等、用排水路:横内・南豊田等	農道:岡崎・南金目等、用水路:横内・北金目等	農道:飯島・北金目等、用水路:南金目・岡崎等	農道:北豊田・北金目・飯島・小鍋島等、用水路:南金目
財源内訳	国庫支出金	0	4,500	0	16,500
	県支出金	35,000	34,600	24,000	21,100
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	8,454	0
	一般財源	66,082	63,776	32,448	41,750
事業費 (A)		101,082	102,876	64,902	79,350
執行率 (%)		99.81	91.91	94.77	
内訳	職員 (人)	2.35	1.85	1.85	1.60
	再任用 (人)	0.10	0.30	0.00	0.00
人件費 (B)		19,381	15,849	14,704	12,501
フルコスト (A+B)		120,463	118,725	79,606	91,851

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	国庫補助により老朽化した取水堰の改修を行うとともに、金目地区取水改善事業に着手していきます。また、県費補助金を活用し、狭隘な農道を拡幅整備します。
課長コメント	優先順位を考慮しながら、県の補助金を効果的に活用し、事業を効率的に進めます。今後は、国庫補助を活用し、老朽化した取水堰を改修整備し、用水の安定供給を図ります。